

# ◆令和5年度認知症講演会 アンケート集計結果

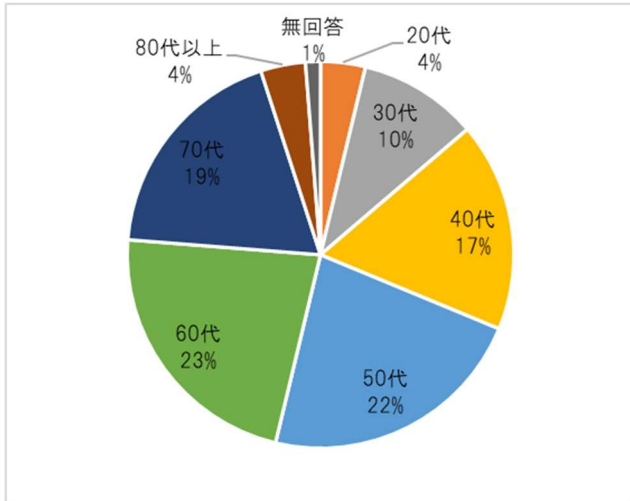
〈参加者〉会場:90名 オンライン:19名 計109名

〈アンケート回収〉会場:70名 オンライン:10名 計80名

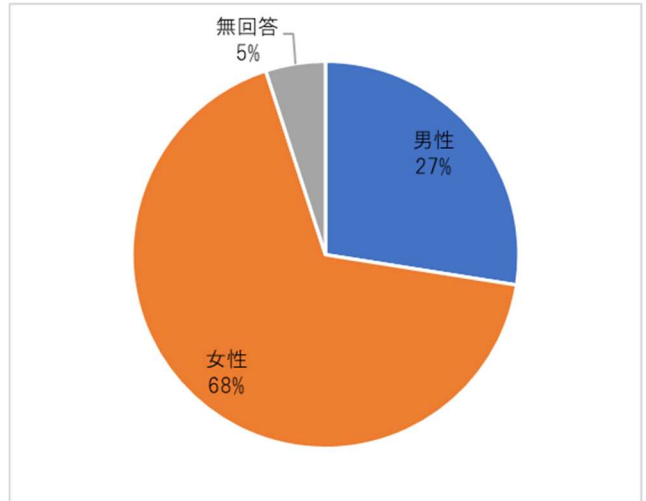
〈アンケート回収率〉会場:77.7% オンライン:52.6%

## 問1. ご自身について

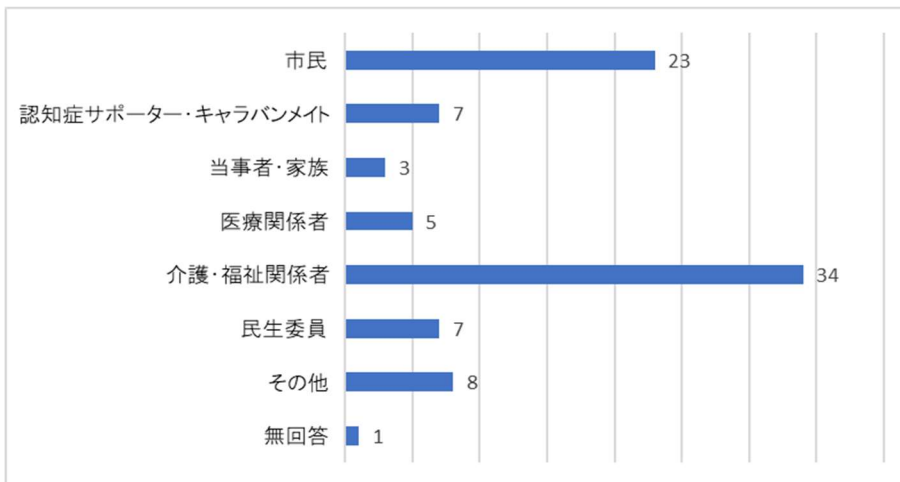
### ①年齢



### ②性別



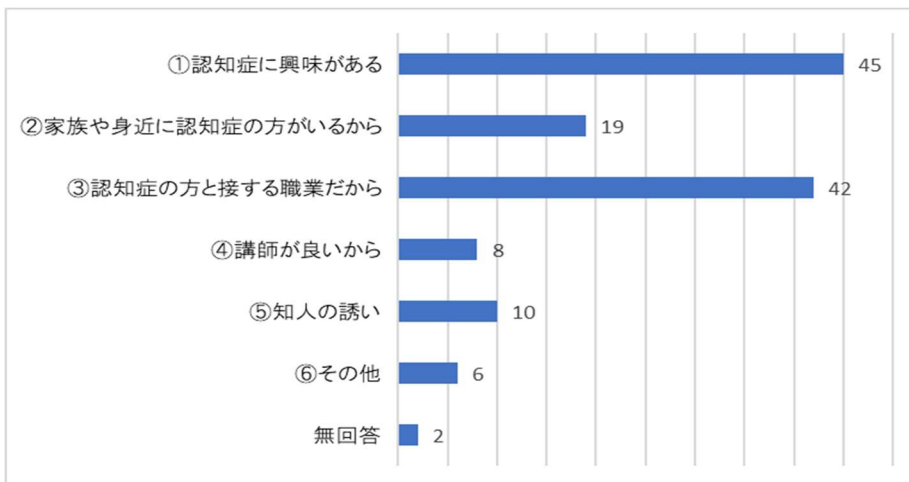
### ③区分(複数回答)



〈その他の回答〉

- ・行政
- ・交流センター
- ・他市認知症地域支援推進員

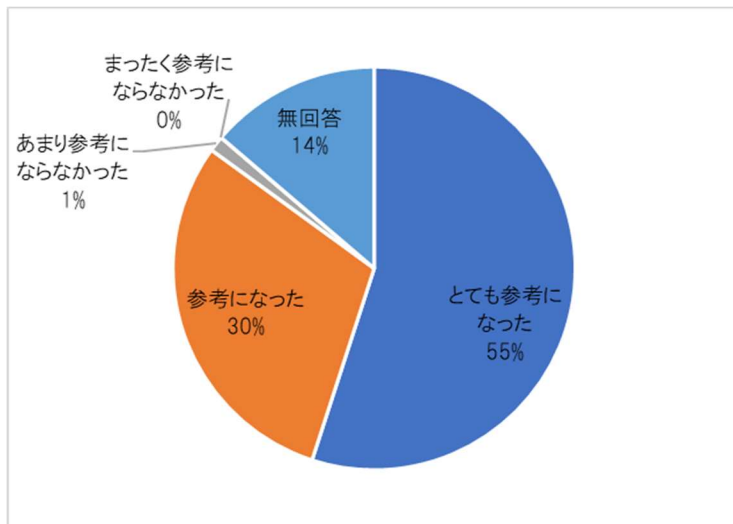
## 問2. この講演会に参加しようと思ったきっかけは何ですか？(複数回答可)



〈その他の回答〉

- ・職場で紹介された
- ・企業からの参加
- ・市報
- ・講演内容が気になったから
- ・自分自身、両親の認知症→看取りを経験し「古い常識」で対処して来て心残りがあった。近所の高齢化・独居・認知症を目にして正しい対応に迫られてきた。

### 問3. 「認知症講演会」はいかがでしたか？



### 問4. 講演「認知症の新しい常識：地域でともに暮らし続ける」のご感想やご意見をお聞かせください。(抜粋)

#### 《良かった、参考になった(新しい常識について理解できた)》

- ・認知症の人の声を聞き、本人の思いを大切に、地域共生社会を目指していくことの大切さを学んだ。ほとんどが自分たち中心に考える世の中、本人の意思決定をもっと聞き入れていくことの大切さを考えさせられた。
- ・とてもわかりやすくていねいなお話でした。認知症の人をとりまくバリアの話はどれも納得できるもので、自分たちのちょっとした行動や考えの変容で新しい常識へ転換していかなければならない時だと思いました。
- ・認知症の「新しい常識」と「古い常識」をわかりやすく説明していただき今までは「古い常識」にとらわれがちだったが一つ一つ考え方を変えていき、認知症になっても暮らしやすい社会にしなければと思った。

#### 《思い、気付き》

- ・認知症本人を抜きにして話をしたり、介護者と話すことが多く、改めて本人中心の時間を持ちたいと思いました。
- ・認知症の方ができなくなったことに目を向けるのではなく、本人の持っている意思やできることに目を向けて一緒に歩いていくことが大切。とても前向きになれるお話ありがとうございました。
- ・理想的で良いが実現はむずかしい。

### 問5. 講演「認知症の人とともに築く認知症バリアフリーのまち ごぼう」のご感想やご意見をお聞かせください。

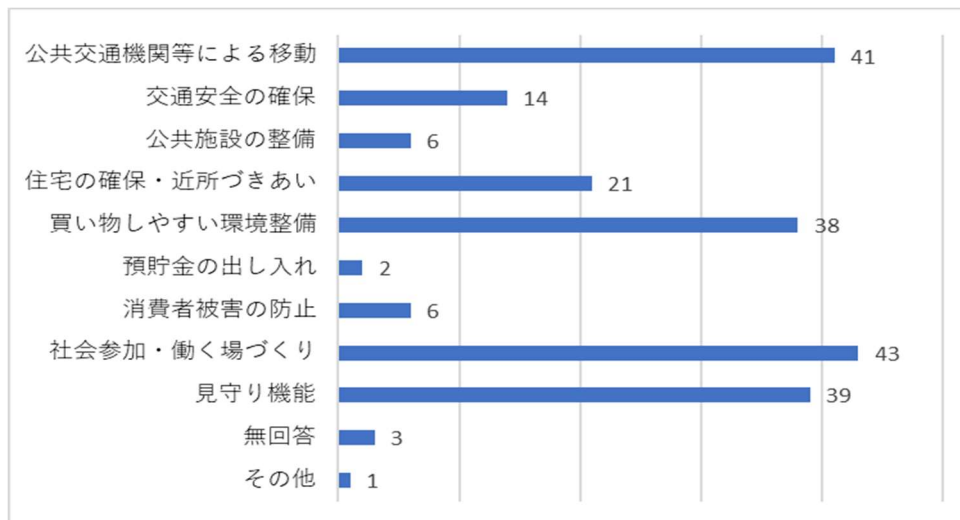
#### 《良かった、参考になった》

- ・事例がすばらしかったです。頭では「利用者本位」ということを分かっているつもりでしたが、今日の話がうかがって、本当の意味で当事者の立場に立てていなかったと感じました。
- ・御坊市が認知症の人たちに対しての事例をわかりやすく説明していただき、また、取り組んでおられることに感銘を受けました。
- ・バリアは「人」本当にその通りだなと思いました。

#### 《思い、気付き》

- ・本人の意見を聞くことが大切。本人不在にならないこと。
- ・当事者の方の困りごとに目を向けること、自分につながっている問題として解決に取り組むことが地域全体を皆が過ごしやすくしていくため必要なことなのだと思います。認知症だからといってその人の経験や知恵が失われることはなく、むしろ頼り行政が介入してくれると助かります。現場への介入どんどんして欲しいです。

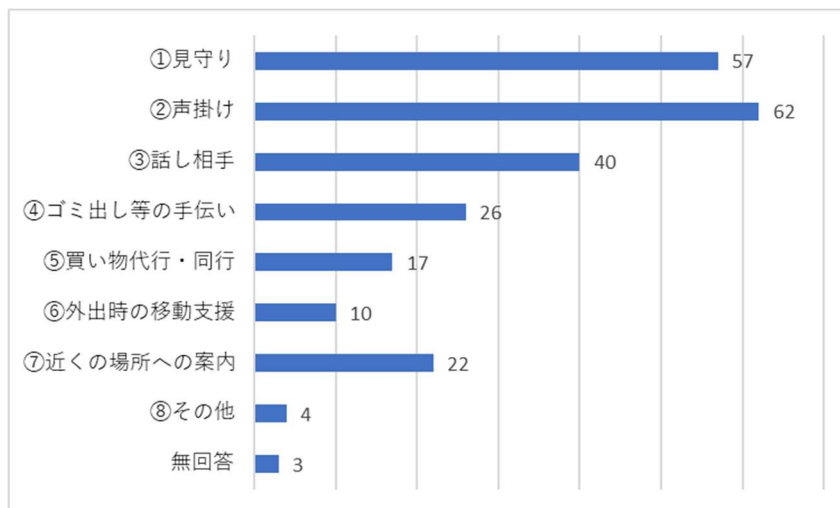
問6. 安心して地域で暮らし続けるために取り組むべきテーマとして、優先度が高いと思うものを3つ選んでください。



〈その他の回答〉

・介護職員の不足(介護職員の給与が低いこと)

問7. あなたが認知症の方に行える(できそうな)支援についてお答えください(複数回答可)



〈その他の回答〉

- ・草刈り
- ・医院への受け入れ
- ・事業所としてその方に必要な支援の提供
- ・今責任をもってできると言えない事はありません。

\* 今回の講演会に関するご意見、今後の講演会に関するご要望等をご自由にお書きください。(抜粋)

《良かった、参考になった》

- ・今回安来市の取り組みを知ることもできて良かったです。
- ・今までの認知症は本で勉強した内容が多かったのですが今回の講演は考え方や行動が変わる事になると思います。ありがとうございました。
- ・実践することは難しいが、一人の支援をしないことは、誰一人支援できないことになる。と言われたことが印象的でした。

《思い、気づき》

- ・自分自身がまさに当事者ですが、今日のような学習やまわりの人と力を合わせるなど考えたい。いろいろなことがとても良く解り、今後の参考にさせて頂き、安心・安全と楽しい老後を、残りの一生を送りたいと思いました。
- ・認知症は他人事ではなく身近な自分ごとであることを意識し、理想の社会をイメージして地域全体で一団となつてとりくむことが大切なのだと思えました。
- ・永田先生の講演を次を担う市内の高校生・中学生にも是非聞かせてください。「新しい常識」は若い人のマインドが変わり、安来市を大きく変える事が出来ると思います。

《もっと沢山の人の参加して欲しい》

- ・市報とかで、一般の関わりが少ない人への広告はされていますが、もっと関心がもてるように、広告し参加しやすいようにした方がもったいないと思いました。地域で関わっていく事になるのだから。(自分自身は解っていて、改めてしていかなければと思っても、周りの方の関わりのない人にはどう伝えて、今後の住み良い街にしていくのか、考えていく必要ありですね。)